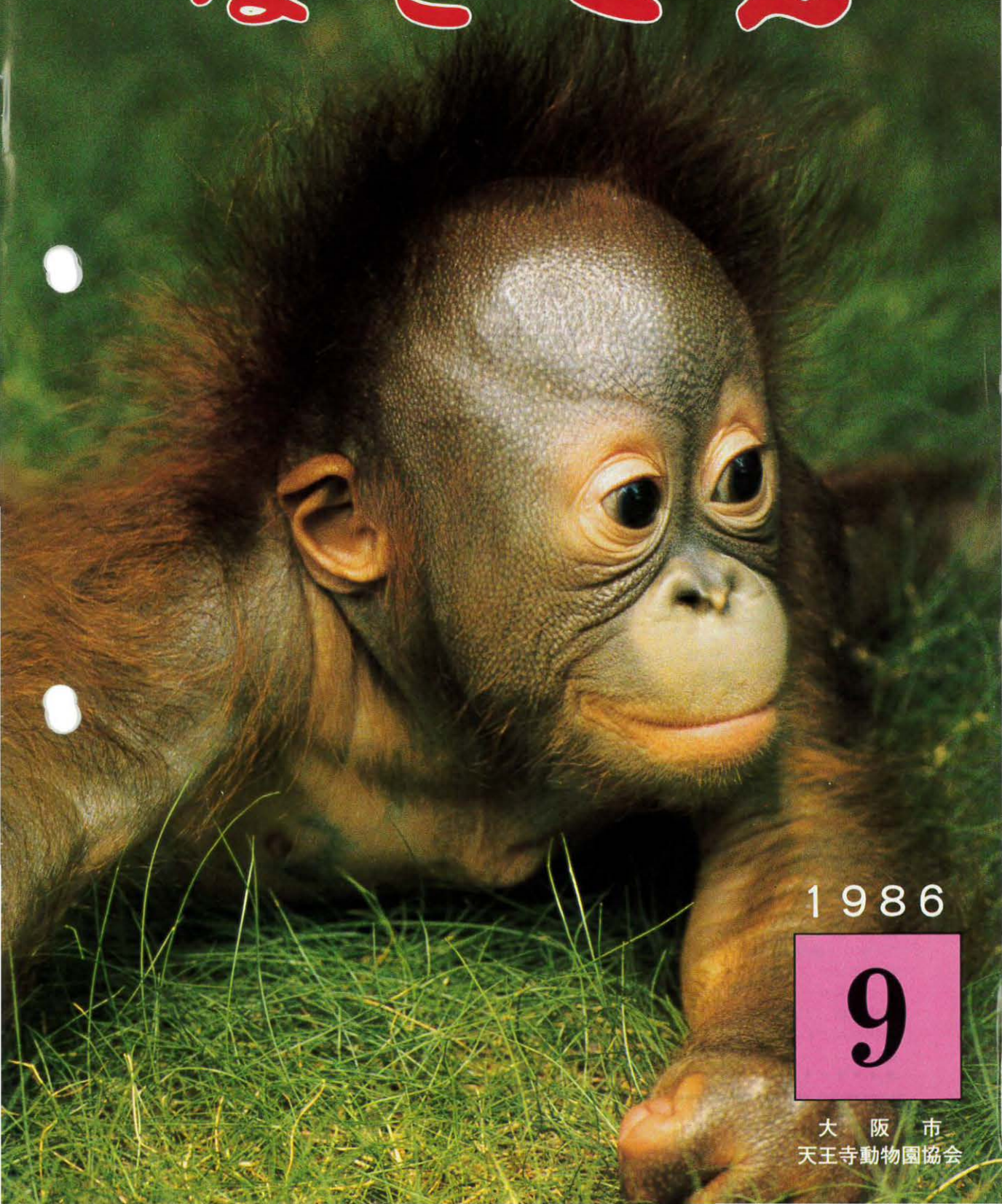




なきごえ



1986

9

大阪市
天王寺動物園協会

伊吹 太郎



人間この世に生れて今日迄の人生で一度や二度は動物園へ行ったり、動物を抱いたり、一寸悪戯をして吠えられ追いかけて泣いたり、動物にまつわる思い出は鮮明に残っていると思います。こういう私も今から40年前、丁度

終戦直後の幼稚園児の頃、自宅にわとり10羽、猫2匹、兎8匹を飼っていましたが、この時代は食料不足で近所の人から、人間が満足に食べられない時に動物を飼って、と陰口をいわれました。又子供の遊びといってもボール投げとか、かくれんぼ、なわとび位で私の家の動物は珍しく、近所の友達が5人、10人と集り学校の行き帰りに順番を決めて世話をする様になりました。しだいに責任感が生れ、仲間が結束する様になり笑い声も絶えず、動物を愛する楽しそうな友達の姿に、陰口をいていた親達も恥じておりました。

そして現在、私も小学校3年生の娘を持つ親になった今、我が家には生後七ヶ月の雄のペキニーズがおります。今の犬は二代目で、先代は私の結婚記念に友人からプレゼントされ、15年間家族の一員として来ましたが寄る年波に勝てず老衰の為死去、現在大阪の動物霊園で静かに眠っております。15年間も寝食を共にしていると父母には孫の様に可愛いく、観察していると私と妻、父母に対する仕草が全て違う事です。母は多少足が不自由なのでトイレ、風呂場へ行く時は必ず一緒に行動し、母の行動を報告する様に父の傍へ帰ります。私達には子供が親に甘える様に接し、娘には弟の様にやさしく時には喧嘩をして部屋中を走り廻っておりました。その愛犬の寿命

なぎごえ9月号もくじ

動物と私 2
"シマシマ模様のニューフェイス" 3
動物園グラフ・動物園日記 4・5
サマースクールに参加して 6・7
保護動物、この10年 8・9
動物なんでも相談室 ⑭ 10
動物園ニュース 11

が絶えた時の父母の衝撃は想像以上で私もこの様な悲しい目に逢うのは嫌だと心に決め半年が過ぎました。

ある日娘と散歩方々友人宅へ寄りますと生後もない数匹のペキニーズと出会い、思わず娘が今は永眠している愛犬の名前を呼んでしまいました。すると中の一匹が娘の傍へにじみ寄りクンクンいいながら甘えて離れず、娘は前の愛犬が私に弟を授けてくれた、とその場を離れず友人に無理をいって全て世話は娘がするという条件で譲ってもらい、現在我が家の二代目ペキニーズになるのです。

娘が世話をするというものの心配で見守っておりますが子供の動物に対する知識には驚きます。もっとも現代は私達の子供の頃とちがい動物ブームというのでしょうか、飼育方法の情報はすぐ入ってくるので安心して娘にまかせておけます。現に幼稚園や学校では大なり小なり動物を飼っている所が多い様ですが、先生方にお聞きしますとこれは社会常識の一環で動物を通じて相手に対する愛情、やさしさ、おもいやりを育てる為で、動物を愛する人に悪い心を持った人は絶対いないとおっしゃいました。その証拠に動物を見ている時の子供はもちろん親達の目の輝き、美しく、人間の善悪は目を見ればわかるの諺がある通り悪い人に見えますか、と断言され私もその通りです、と即答致しました。私達芸能界に仕事をしている者にとっては子供や動物と共演すれば絶対に負けると言うジンクスがあります。これは自然な動作、美しく澄んだ目が演技者の大人達を圧倒するからでしょうか？我々大人も自然に勝てる訳がありませんが守る事は出来ますしそれが義務ではないかと思えます。動物を愛した思い出を持っている人がその気持を生かせばもっともっと素晴らしい人間形成の社会が生れるのではないのでしょうか！動物を見るあなたの美しい瞳の輝きとやさしい気持をこれからの人生に大切に育てて下さい。

(タレント・チャンバラトリオ)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

表紙の写真説明

“オランウータン” (Pongo pygmaeus)

4月27日生れの赤ちゃんです。人工哺育で順調に成長していますので、皆様にお目にかかれるのももうすぐのことでしょう。

(撮影：大野 尊信)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



“シマシマ模様のニューフェイス”

7月28日、グラントシマウマの赤ちゃんが生まれました。かわいいシマシマはちょっと茶色味がかっていますが、母親そっくり。堀に落ちるなどのちょっとしたアクシデントはあったものの元気そのもの、すくすく育っています。

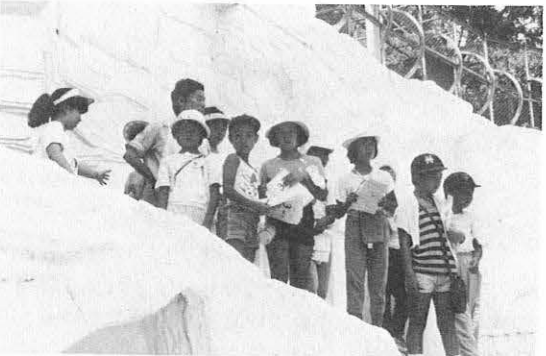
(撮影：榊原 安昭)



1班は霊長目。
チンパンジーの“ミナミ”と“だっこ”可愛ゆ〜い!!



2班は食肉目。
このクロオオカミは人工哺育で育てたんだ。こわくないよ、さわってごらん。



3班はクマ科と鱈脚目。
ホッキョクグマは北極圏に住んでいます。広い放飼場で動物の説明。

動物園グラフ

なきごえ22(9), 1986

サマースクール特集

今年で12回目を迎えたサマースクール。280名の募集に638名が応募し、2.3倍の競争率。1組2日間、のべ8日間で259名が参加。実習体験を中心に楽しい夏の思い出を作りました。

(撮影：中川哲男)



4班は草食獣。
ヤギのお乳って軟らかいな!明日、ヤギで作ったヨーグルトを食べるんだ!!

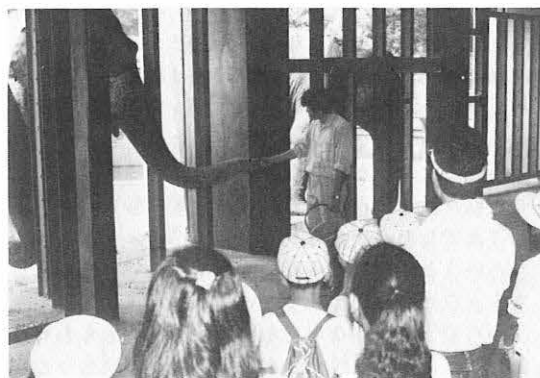


キリンの餌はまず、ハイキューブ、2つ目、ペレット、3つ目はタマネギ……

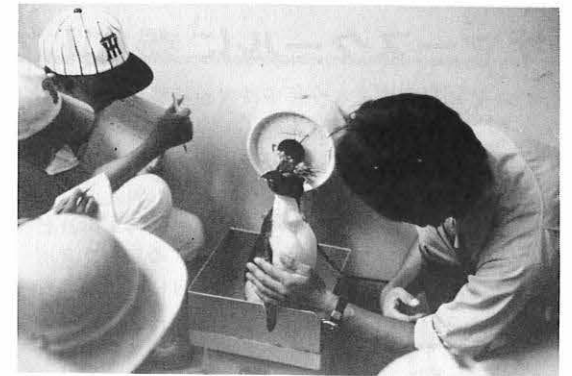
なきごえ22(9), 1986



5班 夜行性動物。有袋目など。
ナミハリネズミ、まるでイガグリのようね。さわってごらん。



ゾウの鼻の使い方をよく見てごらん。つまむことも、巻くこともできるんだよ。



6班 鳥類。
イワトビペンギンの体重は何kgかな?翼は思ったより硬いね。



7班 爬虫類。
マタタの保定法はこのようにしてー。
重いなあー。



終了式のあとのご褒美、アイスキャンディーは最高!!

7・8月の動物園日記

- 7 / 7. ニホンジカのメスが1頭生まれました。キジ類の定期駆虫を行ないました。
- 7 / 8. リュウキュウイノシシの子供5頭(6月25日生まれ)の性別を確認しました。
- 7 / 9. 出産で隔離していたフサオマキザルの母と子供を、仲間と再び同居させるために、オリごしにお見合いをはじめました。
- 7 / 10. チンパンジーのメス“サクラ”が下痢をしたので、さつそく治療を開始しました。
- 7 / 13. サマースクール・ボランティア研修会の第4回が行なわれました。

- 第15回動物のお話とスライドの会が「大阪の野生動物」と題して、開催されました。
- 7 / 14. 本年生まれのキジのヒナにワクチンを接種しました。
- 7 / 15. ニホンザルが1頭生まれました。グラントシマウマのキャンディとレディーの出産が近いようです。キーウィ、ハリモグラ、ハリネズミの体重測定を行ないました。
- 7 / 18. チンパンジーのメスの子“ミナミ”(2歳)が入園しました。ピューマの駆虫を行ないました。
- 7 / 19. オランウータンの子の行水をはじめました。

- 7 / 20. オオゾルが産卵しました。
- 7 / 21. キーウィのロンロンとジュンの飼育展示舎のしきり板を取り除き、試験的に同居させて様子を見ました。
- 7 / 22. 定例飼育研究会が行なわれました。
- 7 / 23. ホッキョクグマに氷柱をプレゼントしました。
- 7 / 24. カリフォルニアアシカのオス“タケゾウ”の前足の傷が治ったので隔離収容舎からアシカ舎へ戻しました。
- なきごえ編集会議が開かれました。
- 7 / 26. 第12回サマースクールがはじまりました。
- 7 / 27. ベンガルトラのメス“ミン”が起立できな

- なくなったため、すぐに治療をはじめました。
- 7 / 28. グラントシマウマの“キャンディー”が子供を1頭生まれました。またニホンザルにも1頭、子供が生まれました。
- ヤイロチョウの幼鳥を1羽、保護しました。
- 7 / 30. クロサイ舎の運動場側のとびらを開放し、夜間も運動場に出られるようにしました。
- 8 / 1. マントヒビにメスの子が生まれました。
- 8 / 3. サマースクールが終了しました。今回は合計259名の小学生が参加しました。

12回目を迎えた今年のサマースクールは実習体験を中心にカリキュラムを組みました。そして、参加した生徒に1日目を終了した段階で感想文を提出するよう宿題を出してみました。全て素晴らしいものばかりですが、その中のいくつかを紹介してみましよう。

姫里小学校4年 尾方隆史(3組1班)

今日はサマースクールだった。はじめワクワクドキドキして天王寺動物園へきた。今日はいろいろなれいちょう目の種類の動物を見てまわり、そして日本ザルの話を書いた。話をきく前に土谷キーパーさんがえさをやってぼくたちはボスというむれのリーダーをさがすことになった。土谷キーパーさんがヒントをくれた。体格がガッシリしてておしりと顔が赤く時どきしっぽを立てて歩くといった。はじめぼくは岩山の下の方のかげにいたのかなあと思った。でもちがうかった。もう1びきボスかなあと思ったのがあった。岩山の中間ぐらいにあながあいていてその中に入っていたのがいた。わりと体格ががっしりしていた。顔の色はかげだったのであまりみえなかった。そして歩いていなかったのでしっぽも立ってなかったしおしりも赤いかがみえなかった。するとサル島の金あみの上の方で「キーキー」と声が出た。子ザルがケンカをしていた。するとボスと思ったサルが急にとびだした。すると子ザルがすぐケンカをやめてはなれていった。これでぼくはまちがないと思った。土谷キーパーさんが答をいった。ぼくが思ったとおりだった。その時「やっぱり」と思った。弁当をたべおわってつぎはヒビハウスでえさをやった。原田キーパーさんがえさばこにポンポンにんじんやいもなどをなげた。えさのはいったえさばこをもっていってえさを入れた。ぼくはフランソワルトンというサルにやった。そのあとブタオザルやチンパンジー、オランウータンなどにあった。サマースクール初日はあつかったからしんどかった。あしたはもっとしんどいだろう……。

住吉小学校4年 西川智子(4組2班)

今日は楽しみにしていたサマースクールでした。私は動物がすきなので早く動物にあいたかった。それに動物の話も聞きたかった。そして動物を見にちょっと歩いた。そして先にキタキツネを見た。歩き方はスキップをするようにつま先でチョンチョン歩いていた。それに毛がつやつやしていた。つぎにホンダギツネを見た。歩き方はのっしのっししていた。毛はてんねんパーマみたいでぐちゃぐちゃしててふさふさだった。つぎにホッキョクギツネを見た。ほかのキツネにくらべ少し小さかった。それから手はまっ白でとてもきれいでした。大耳ギツネはとても耳が大きくてかっこよかった。そしてライオンを見たらメスとオスがこうびをしていました。私はライオンがこうびをする所を見たのははじめてでした。

メスの上ののってオスのおしこの出る所をメスのおしりにちょんちょんつけていました。それからクロオオカミのところに行きました。「なでてごらん」と言ったのでピクッとしたら「なれているよ」と言ってくれたのでちょっとホッとしました。そしてなで終わったらもっとホッとしました。そしてサイの近くの池で泳がせていた。とてもすずしうだった。それからライオンのねどこに行ったら「ガオー！」とほえたのでびっくりした。えさを食べる時はガリガリ、ポキポキという音がした。ちょっとこわかった。それからお昼ごはんを食べました。とてもおなかがいっていたのでとてもおいしく感じました。お昼休みに絵をかきました。それからちょっと見学して帰る時間がきたのでかたづけしている時「もう家に帰るのか、とまりたいなあ」と思いました。けれどライオンのことを思いだすと「やっぱり帰ろ」と気がかわりました。とても楽しかった。

常盤小学校4年 高倉頼子(3組3班)

私は動物が好きです。でも家のじじょうで買ってくれません。だからサマースクールを楽しみにきました。いろいろな動物にふれることができるからです。今日はあしかといたちを観察しました。中でも一番私がかぎょうみを持ったのはうまとしまのけっこんでした。なぜこういうことにきょうみをもったというと生れてくる赤ちゃんがかわいそうやからです。なぜかわいそうやというともみんなと色がちがうからです。でもなんでもいっしょやときもちわるいし、はんたいに色がちがうことでうまはもつかわいそうやと思います。そう、私は思い出しました。ちょうどガールスカウトのキャンプで、みにくいあひるの子のげきをします。みにくいあひるの子みたいにいじめられたりしたらかわいそうやなあと思いました。そんなことを考えているとそのホーブラという動物の気もちが伝わってくるような気がします。これからなまはずれを作ったり、1人だけいじめたりすることはかわいそうだからやめたいと思う。

鳴野小学校5年 小柳紀子(4組4班)

今日キリンの運動場の所をそうじしました。まず飼育のおじさんなどの話をきいてそれからほうきをもってキリンの運動場のそうじをしました。ふんをあつめるだけだけどわたしははじめ、キリンのふんは小さいけどふんだりしたらぐちゃとなってきたないんとちがうかなあ?と思いました。けれどもボランティアのおにいさんがふんをつかんだのを見て、

「うわあきたないなあ」と思いました。そしておにいさんが「ほらつかんでごらん」といったけど、やっぱりさわれません。そしてきたさんというお兄さんが半分におとの中は草の小さくなったものが入っていました。あんまりきたなそうじゃないからにおいでみるとにおいがしません。私は「もう1度食べられへんかなあ」と言いました。草だから食べると思ったからです。けれどもボランティアのお兄さんは「食べられへん」と言いました。それからふんをあつめおわると飼育のおじさんの話を聞きました。キリンにも1びき1びきふんの形がちがうみたいで長ぼそいのがサキコで丸いのがナガヤというキリンだそうです。よくそんなのまでかんさつできてるなあと思いました。こまかいところまで気をくばっているのだなあと思いました。

平野西小学校5年 吉川尚徹(3組5班)

ぼくがサマースクールでいんしょうに残ったのは動物のえさを作ったことです。最初にいろんな動物のえさを作っているおじさんの所へ行きました。入ると何かぐちゃぐちゃな物を作っていてそれを見てみると、とつぜん「これやってみたい」と言われました。ぼくはおそろのおそろに手を近づけました。そして思いついて手を入れてまぜ始めました。横でみていたおじさんが時々「そんなまぜかたあかん」とか「もっと力を入れて」と注意します。気持ちが悪いのでついづいづいちがうやり方になってしまいます。1〜2分まぜるとプーンとへんなにおいがしてきました。でもえさを待っている動物のことを考えるとぼくはガンバツマゼました。それからもう少しまぜると「よっしゃもうええわ」と言ってくれました。ぼくはすばやく手を洗いました。ぼくはこのおじさんは毎日えさを作っているんだなあ、たいへんだなあと思いました。でもおじさんは動物のためにいっしょうけんめいにガンバツマゼ、やさしい人だなあと何度も思いました。

堀江小学校6年 榎原理雄(3組6班)

ぼくは3年連続でこのサマースクールに来ています。4年の時はもうじゅう類で5年の時はぐうてい目やきてい目でした。6年になって鳥類に入りました。もう1つはちゅう類があつたけど、どっちかというと鳥類の方が好きです。理由は(1)空を飛べる(2)のどかだ、(3)楽しそう、(4)かわいい、ぐらいです。鳥類はてんてんきが多いからとてもかわいそうな感じがするし、ドバトやスズメは人間のめいわくと考えられているけどよく見るとかわいい。動物の社会で考えると人間が1番のうを持っているけど、その半面1番めいわく物だと思ふ。理由は平気で動物のいる森林をつぶしているからです。今は緑をふやす

運動よりも緑をはかいする方がさかんだと思ふ。だからアシナガバチなどのハチがすめる所をなくされておこって人間などをさすようになったのにちがいない。人間はよくビルを建てるけどその土地の半分は鳥のすめるような木をうえてすばこもつけたらいいと思ふ。そうしたら緑もふえるし、野鳥が遠くまで行かなくても見れると思ふ。ツバメはすを作る場所を人間に世話をしてもらっているけど、人間にころされているものもいる。それはのうやくをまくと虫にのうやくがついてそれを親鳥やひなが食べて親子ともに死んでしまうケースは少なくないと思ふ。のうやくなんかまかないでツバメなどにえさとして食べてもらって死なないようにしたらいいと思ふ。鳥を見つけたら石をぶつけておどしたり、ころしたりする子供がこのごろたくさんいるけど鳥にも命はあるのでそういうざんこくなことばやめてほしいと思ふ。

依羅小学校6年 中津川誠朗(2組7班)

ぼくは今日行ったら7班では虫類の班だった。は虫類は興味がない方ではないのでよかったです。ヘビは口が180度もひらくなんて知らなかった。ヘビの舌は何のためにあんなチョロチョロさしているのかわからなくておしえてもらったのでよかったです。舌でおいとかを感ずると聞いた。けれどもどうやってにおいなんかしるのかふしぎです。ヘビを見に行ったら。そしたらキーパーさんがえさをやるのを見せてくれた。ヘビはどのようにしてえさをとるかを実さいに見てよくわかった。ぼくはかみちぎって食べるのかなあと思っていたけれどもまるのみしたのでびっくりした。ヘビのしっこは水みたいだと思っていたけれども白いかたまりだった。カメの仲間でも横に首をひっこめるカメなんて聞いたことがなかった。けれどもいた。カメのひょう本を見た。そしてテープで腹甲をとめているのがあった。ぼくは見やすいようにそうしているのかなあと思っていた。けれどももともとちゅうつがいみたいになっているって聞いた。ちっともしらなかった。夜こう性の動物のところへ入った。ぼくはコウモリを初めて見た。キウイはもっと小さくひよこぐらいだと思っていた。けれどももつとでつかかった。アルマジロをさわらせてもらった時、本当にこれが丸くなるのかなあと思つた。背中はかたかったのに中の方はすごくやわらかかった。土をほるのがすごくうまかった。次にハリネズミをさわらせてもらった。すごくかわいかった。はりもあまりいたくなかった。これですごく勉強になったし楽しかった。

(編集 中川哲男)

§ はじめに

路上でじつとずくまっている鳥がいるとしたら皆さんはまずどうされますか？ かわいそうだがそのまま通り過ぎますか。それとも家まで持ち帰り介護してあげますか。たった1羽の鳥を保護するにも決断があるものです。多忙な毎日を送っている我々です。1羽の鳥を救ってやろうという愛護精神も心の片すみに押しやられてしまうのが現実かも知れません。また、どう手当てをしてあげたらよいか、どんなエサを与えたらよいかも知らないことも、保護するのをためらわせる原因になっていることも明らかです。

当園に傷病動物が持ちこまれたとき、保護時や、またその後の状況の簡単なメモをとっていますが、エサに関しては、保護された方のほとんどが適切なエサを与えてはいません。きっと保護された方もこんなエサでいいのかなあと疑問を抱きながら、まずは身近にあるエサを与えているのでしょう。でもこの人はりっぱな動物愛護精神の持ち主です。ここで相談ののってくれる人がいたらいいのですが、なかなかそううまくはいかないものです。最近、平日の午後4時から30分間受け付けている動物相談の件数もうなぎ昇り。この30分間は本当に悲鳴を上げたくらいです。同時に、野生動物の相談も多くなりました。市民の方々には、野生動物保護施設がどこにあるのか、まだまだ認識されていないのが現実だと思えます。野生動物を保護されたときは、なるべく早く専門家に任せるのが一番でしょう。もし弱っている野生動物を発見、保護したときは、大阪府下では、大阪府庁の農林部・緑の環境整備室(TEL 06-941-0351 内線2742)に電話すれば、当園も含めたもよりの保護センターを紹介してくれるはずです。その他の府県では、県庁、府庁で、自然保護課のような野生動物関係の部署がありますから、問い合わせればよいでしょう。

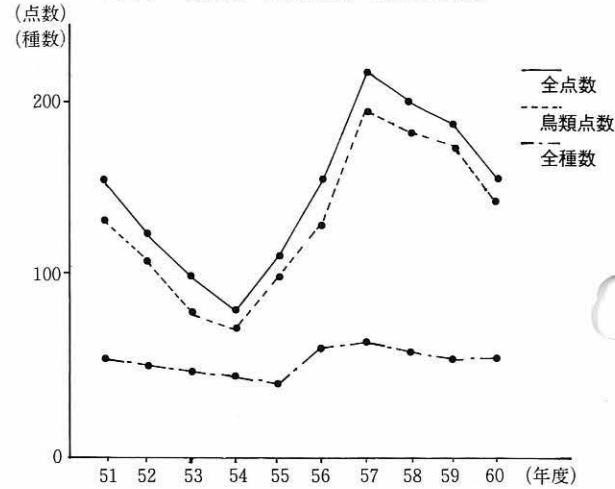
前文が長くなってしまいましたが、自然破壊が激化しつつある現在、自然保護は市民1人1人の強い認識がないと推進は難しいでしょう。幼少時代からの自然保護に対する教育こそ、今必要とされていることだと私は思います。

最近10年間の当園の保護動物データの総まとめは、市民の動物保護意識の何らかを物語っているかも知れません。以下にその概要を示します。

§ 野鳥の保護が断然多い。

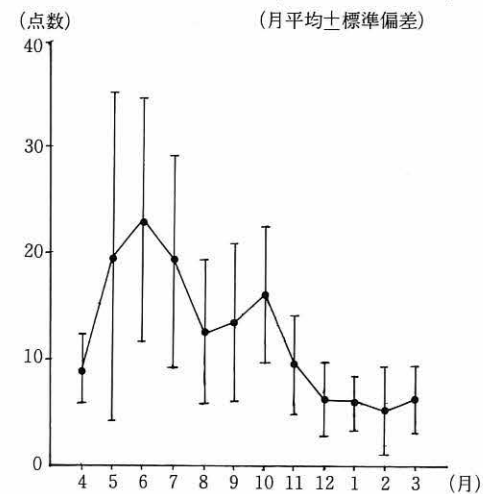
昭和51年度から60年度までの10年間に1447点の野生動物が保護されましたが、その内の88%、1270点が野鳥で、種数も16目117種にのぼりました。毎年

図1. 年度別 保護点数・種数の変化



保護される種類は、哺乳類はタヌキ1種のみで、10年間で40点保護され、鳥類では、7種で、キジバトが160点保護され一番多く、次にゴイサギ(128点)、カルガモ(71点)、ツバメ(68点)、ヒヨドリ(68点)、トビ(38点)、オオミズナギドリ(35点)と続きます。爬虫類ではアオダイショウが60年度を除いて毎年保護され、点数もこれだけが56点と際立っています。また保護鳥類117種のうち32種が各々1点しか保護されませんでした。アカオネツタイチヨウやハヤブ

図2. 月別保護点数の変化 (S 51~S 60年度)



サ、ヒメクロウミツバメなど極めて珍しいといえます。月別で保護点数をみますと、繁殖時期である春

図3. 保護された場所 (数字は点数)

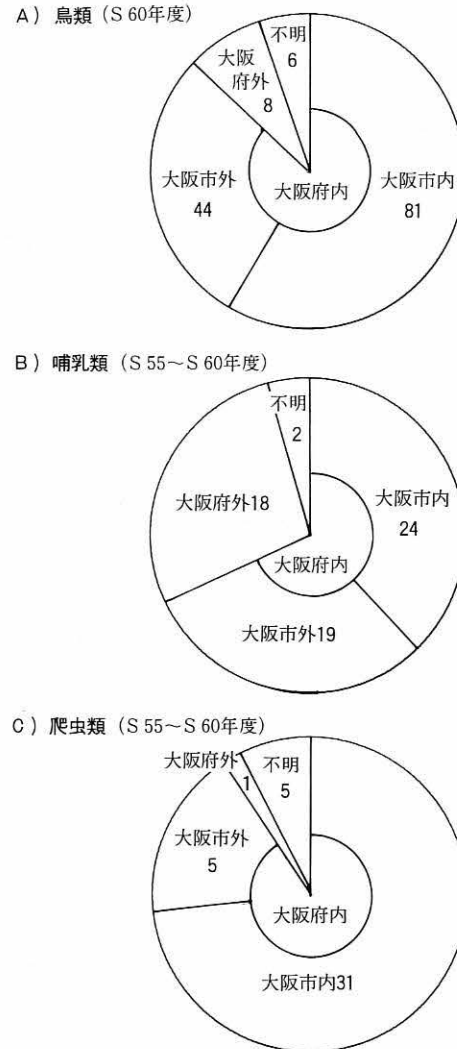
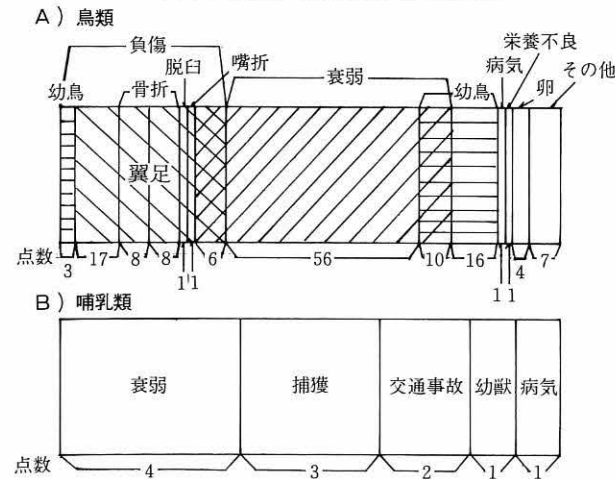


図4. 保護された原因 (S 60年度)



から夏にかけて増加します。ちなみに、1ヵ月間で最大の保護点数を記録したのは、昭和58年の46点です。

§ 保護場所

大阪市内が多く、市内にもかなりの野生動物がみられることを示しています。図4のBの大阪市内で保護された哺乳類は3種。58%がイタチで、残り半数ずつがタヌキとアブラコウモリです。タヌキはまだ市内に生息するのでしょうか？

§ 保護された原因

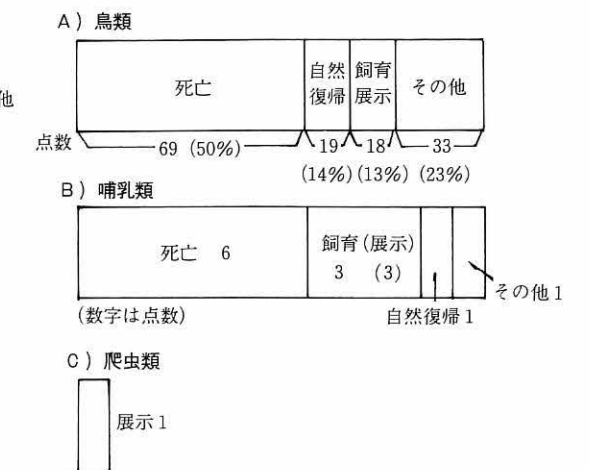
図4に昭和60年度のものをまとめましたが、ほとんどが衰弱、負傷、幼鳥で占められています。B)の交通事故は負傷と考えて下さい。

§ 保護動物のその後

昭和60年度は、鳥類では14%19点が自然に復帰し復帰できない個体は飼育が継続されています。残念ながら、60年度の半数が保護され入院治療されたにもかかわらず死亡しました。保護時点でかなり衰弱しており、動物園に到着したときはさらに衰弱がひどくなっている場合が多いようにみうけられます。野生動物の取り扱いはかなり難しいですが救急処置のやり方次第では、衰弱の進行をおさえることができるように思います。今後市民1人1人の野生動物保護意識の向上、また我々野生動物救護施設担当者の救護技術向上とともに、生存率は増加し、野生復帰できる動物も増えてゆくに違いありません。

(飼育課：森本委利)

図5. 保護動物その後 (S 60年度)





ゆとり満喫、信頼のカード。

ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード **KIPS**
(キップス)

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店

お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●西京都店1階
(京都ファミリー)

ひかりのくに

監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

●オールカラー

むし

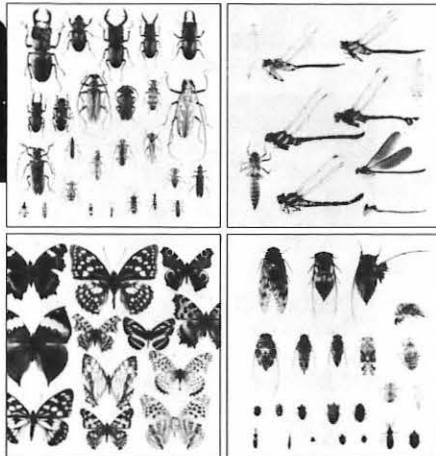
くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。
きーとすばらしいことに出会えるはずだ。

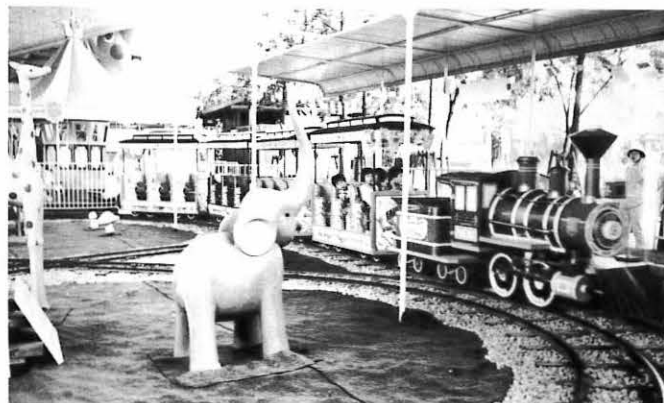
85ページ
84ページ

580円

ひかりのくに株式会社
〒543 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする

はるかに美しく

フジカラー SUPER HR

カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。

動物観察の手引に

天王寺動物園
ガイドブック

のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

猫の歴史と奇話

(定価・2600円)
A5判・260頁
口絵挿画・113図

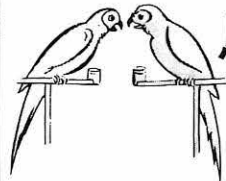
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

主な目次

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 第一章 猫の歴史
欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで | 第二章 猫股伝説
老猫化けてさまざまな怪異をなす |
| 第三章 猫の報恩談
蛇を咬んだり、金を運んだりする | 第四章 野性猫の存在
裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など |
| 第五章 猫の奇話(上)
長命、多産、三毛猫などの形態の奇話 | 第六章 猫の奇話(中)
長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動 |
| 第七章 猫の奇話(下)
マタタビを媚薬とする奇妙な習性など | 第八章 益獣としての猫
あらゆる角度から猫の生態と効用を探究 |

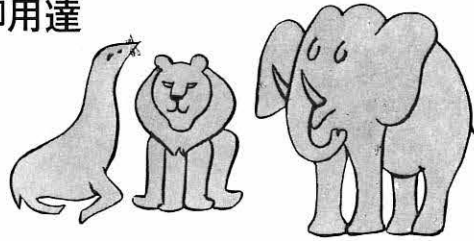
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

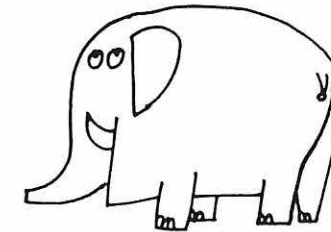
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機しておりますので説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ



雪印ヨーグルト

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

自然の
おいしさ

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和61年9月10日発行(毎月1回10日発行)第22巻 第9号 (通巻253号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/前田豊彦/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭/森本委利)
(大野尊信/山下奉之/農本武志/野口秀高/早川 篤/藪野幸司/堀 弘/大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823